

.....

館園名 : 秋田県立近代美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年04月20日

所在地

- ・ 〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46

公式サイト

- ・ <http://www.pref.akita.jp/gakushu/public-html/index.html>

設立主体

- ・ 秋田県

運営主体

- ・ 秋田県庁

設立目的

- ・ 郷土文化の拠点「秋田ふるさと村」の中核施設として開館。

展示概要

- ・ 秋田蘭画の小田野直武、近代の平福穂庵・百穂父子、寺崎広業、福田豊四郎ら、秋田ゆかりの作家を中心とした絵画、工芸、書、あわせてロダン、ブールデル、マイヨールら国内外の彫刻など1,500点収蔵。
- ・ 秋田の近代日本画を中心に、洋画、版画、工芸、書、彫刻など、様々なジャンルの作品を、常設展示室で紹介。

活動概要

- ・ 美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、特色あるテーマをもった展覧会を開催。
- ・ 移動展、講演会、ミュージアムコンサート、美術館教室などを開催。

延床面積

- ・ 11,167 m²

全職員数

- ・ 28名

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 24,000点（美術品等約1,500点、図書資料約22,500点）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：秋田県立近代美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 生涯学習振興の考えに基づき導入され、活動を通して各自が学習し、その成果を実践に移すことを目標にするとともに、県民と美術館の懸け橋として、より多くの人々に親しまれる身近で開かれた美術館づくりを目指す。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 110名（2004年）
- ・ 男性：26名、女性：84名（2004年）
- ・ 平均年齢55歳：男性 歳、女性 歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及担当 担当人数：常勤3名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①案内・誘導、②美術鑑賞マナーの普及活動、③展示解説、④学芸事務補助、⑤各種資料の作成。

活動その他

- ・ 1日活動は、6時間、半日活動は3時間。
- ・ 毎月各自で活動日および時間を設定。
- ・ 会報を発行。
- ・ ボランティア内で案内グループを作り、月1回の集まりを設けている。
- ・ 1～2月に募集。3月に事前研修。
- ・ 資格：高校生以上で、美術を愛好する人。事前に実施する研修講座を受け、1ヶ月に1日（または半日を2回）以上、1年間を通して活動できる人。
- ・ 事前研修講座（美術館運営および事業について、ボランティア活動にあたっての心構え、来館者への対応について、館蔵作品の鑑賞、美術作品の基礎知識）を実施。
- ・ 鑑賞学習会、研修旅行に参加できる。
- ・ 図書室で自己研修を行うことができる。
- ・ ボランティアによって館の情報が広められ、館と地域の方々との結びつきが深まっている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①案内・誘導

◇活動開始年

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 110 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 美術館入館者に対する案内 (館外・館内案内および誘導、障害者・高齢者・子どもへの対応)。

◇活動日

- ・ 毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 基本的に全ボランティアに活動してもらう。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア内で案内グループを作り、月 1 回の集まりを設けている。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②美術鑑賞マナーの普及活動

◇活動開始年

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 110 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 美術鑑賞マナーの普及活動。

◇活動日

- ・ 毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 基本的に全ボランティアに活動してもらう。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア内で案内グループを作り、月 1 回の集まりを設けている。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 1~2 月に募集。3 月に事前研修。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③展示解説

◇活動開始年

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 110 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展示作品の解説。

◇活動日

- ・ 毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 基本的に全ボランティアに活動してもらう。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア内で案内グループを作り、月 1 回の集まりを設けている。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 1～2 月に募集。3 月に事前研修。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 自主グループによる研修が、月 1 回程度ある。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 主に団体への解説に対応しているが、団体からの依頼が少ないのが残念である。

◇その他

- ・

活動個別シート ④学芸事務補助

◇活動開始年

- ・ 1994年（書簡の口語訳は、1997年）

◇活動人数

- ・ 110名（2004年）

◇活動内容

- ・ 美術館の学芸事務補助（印刷物等の発送準備作業および配布、図書資料の整理、書簡の口語訳など）。

◇活動日

- ・ 毎日活動。
- ・ 自宅で活動（書簡の口語訳）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的に全ボランティアに活動してもらう。
- ・ 書簡の口語訳は、1名。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア内で案内グループを作り、月1回の集まりを設けている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 1～2月に募集。3月に事前研修。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤各種資料の作成

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 3 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 来館者の立場に立った各種資料、ボランティア内での使用資料の作成。

◇活動日

- ・ コレクション展開催時。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア内で案内グループを作り、月 1 回の集まりを設けている。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 1~2 月に募集。3 月に事前研修。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 秋田県立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1975年05月05日

所在地

- ・ 〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山 52

公式サイト

- ・ <http://www.akita-c.ed.jp/~hakubutu/index.htm>

設立主体

- ・ 秋田県

運営主体

- ・ 秋田県教育委員会

設立目的

- ・ 県民の生涯学習の拠点として、県民文化の向上に寄与する。

展示概要

- ・ 常設展（5）
 - ・ 人文展示室（秋田の歴史）。
 - ・ わくわくたんけん室（参加体験）。
 - ・ 自然展示室（秋田の自然）。
 - ・ 秋田の先覚記念室（明治～昭和の先人）。
 - ・ 菅江真澄資料センター（紀行家・菅江真澄）。
- ・ 企画展示室。
- ・ 分館 旧奈良家住宅（国重文）。

活動概要

- ・ 展示活動、調査・研究活動、教育普及活動。
広報出版活動、学習支援活動ほか。

延床面積

- ・ 11,374.046 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 21名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 約120,000,000円（2003年度）*人件費含まず

総資料点数

- ・ 103,536点（2004年03月現在）

施設その他

- ・ 2004年04月、常設展示リニューアルオープン。

2. ボランティア活動 名称：博物館ボランティア「アイリスの会」

活動目的・経緯

- ・ 会員の生涯学習と、博物館来館者への補助。

平成 12 年度発足（当初の活動は展示解説）。

平成 16 年度、館の展示リニューアルにともない活動内容を一新。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 30 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：12 名、女性：18 名
- ・ 平均年齢 53.9 歳：男性 62.3 歳、女性 48.4 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：教育普及班
- ・ 担当人数：常勤職員 3 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①館内の総合案内。
- ・ ②体験活動の補助。
- ・ ③普及教室・講演会の運営補助。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 会長・副会長・事務局長を互選し、自主的な運営を推進。
年 1 回の総会と月 1 回の月例会を実施。

関連する出版物

- ・ 特になし

関連するHP

- ・ <http://www.akita-c.ed.jp/~hakubutu/index.htm>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし

活動個別シート 活動名：①館内の総合案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 30名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 来館への館内施設案内サービス。

◇活動日

- ・ 基本的に毎日だが、会員の都合による。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 名札と腕章を支給、控え室を提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ 毎日1～2名をシフトで割り当てているが、強制ではない。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特に行っていない。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年1回募集。
対象は高校生以上。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 募集時に説明会とあわせて適宜実施（5回程度）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 金銭面の補助は行っていない。保険は会が自主的に加入。

◇評価

- ・ 特に行っていない。

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーの固定化。
- ・ 新しい活動内容の検討。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②体験活動の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 30名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ わくわくたんけん室（参加体験型の展示室）における、来館者の体験学習の補助。

◇活動日

- ・ 基本的に毎日だが、会員の都合による。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 名札と腕章を支給、控え室を提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ 毎日1～2名をシフトで割り当てているが、強制ではない。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特に行っていない。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年1回募集。
対象は高校生以上。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 募集時に説明会とあわせて適宜実施（5回程度）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 金銭面の補助は行っていない。保険は会が自主的に加入。

◇評価

- ・ 特に行っていない。

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーの固定化。
- ・ 新しい活動内容の検討。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③普及教室・講演会の運営補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 30名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 普及教室や講演会の会場設営・撤収・受付など。

◇活動日

- ・ イベントの開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 名札と腕章を支給、控え室を提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ 都合の良い人が適宜活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特に行っていない。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年1回募集。
対象は高校生以上。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特に行っていない。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 金銭面の補助は行っていない。保険は会が自主的に加入。

◇評価

- ・ 特に行っていない。

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーの固定化。
- ・ 新しい活動内容の検討。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 秋田市民俗芸能伝承館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1992 年 08 月 04 日

所在地

・ 〒 010 - 0921 秋田県秋田市大町一丁目 3-30

公式サイト

・ <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/ak/fm/fmtop.htm>

設立主体

・ 秋田市

運営主体

・ 秋田市

設立目的

・ 秋田市の民俗行事や芸能の保存伝承、後継者の育成のための練習・発表の場として開館した。

展示概要

・ 竿燈、梵天、土崎神明社祭の曳山を収蔵・展示。

活動概要

・ 展示は、観覧者が竿燈にチャレンジすることもできる、ふれあい広場となっている。
・ 民俗芸能関係の展示室や、練習室、会議室等もそなえている。土・日・祝には、竿燈の実演を行うほか、毎年夏には、民俗芸能発表会も開催。

延床面積

・ 1340.02 m²

全職員数（常勤職員）

・ 8 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・ 施設利用者に比べて、駐車スペースが少ない。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・秋田市立赤れんが郷土館友の会の活動内容に準じる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....
館園名 : 秋田城跡出土品収蔵庫

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1964年04月 日

所在地

- ・ 〒011-0901 秋田県秋田市寺内大畑 141

公式サイト

- ・ <http://>

設立主体

- ・ 秋田市教育委員会

運営主体

- ・ 秋田市教育委員会

設立目的

- ・ 史跡秋田城跡出土遺物の収蔵、展示。

展示概要

- ・ 史跡秋田城跡の出土遺物の展示（土器、瓦、鉄製品、木簡・漆紙文書、木製品）。
- ・ 史跡秋田城跡のパネル展示。

活動概要

- ・ 開館期間（4月～11月・冬季間休館） 開館時間（9時～16時）。
- 入館料無料。

延床面積

- ・ 102 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 0名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 1,119,000円（2003年度）光熱水費・管理人（パート）賃金等維持管理経費

総資料点数

- ・ 600点（ 年 月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：秋田城跡ボランティアガイドの会

活動目的・経緯

- ・ 史跡秋田城跡のボランティアガイド活動を通じて、秋田城跡を広く社会に PR し、地域振興に貢献することを目的とする。
歴史公園の環境整備の進展と見学者の増加を受け、市民講座「秋田城跡学習講座」の参加者を中心に設立。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 44 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 24 名、女性： 20 名
- ・ 平均年齢 66.5 歳：男性 68.6 歳、女性 64.3 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：秋田市教育委員会 秋田城跡調査事務所
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 史跡内（歴史公園・出土品収蔵庫）の解説・案内（ガイド活動）。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ 特になし

関連するHP

- ・ <http://>
2004 年 12 月現在未開設

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし

活動個別シート 活動名：①出土品収蔵庫展示解説・歴史公園解説（ガイド活動）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998年

◇活動人数

- ・ 44名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 史跡内（出土品収蔵庫及び歴史公園）の解説（ガイド活動）。

◇活動日

- ・ 4月～11月 毎日活動。12月～3月 収蔵庫休館期間は休み。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 出土品収蔵庫の一面をボランティア控え室として提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4班に分かれ、1日2名のローテーションで解説。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 市民講座「秋田城跡学習講座」受講者に呼び掛け。活動参加希望者が新規加入する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年1回冬期間に自主研修会を開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無償ボランティア。ボランティア保険はガイドの会が負担し加入。

◇評価

- ・ 報償対応は特になし。

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーの固定化と高齢化。新規加入者による補充が課題。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 秋田市立佐竹史料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1991年04月01日

所在地

- ・ 〒010-0876 秋田県秋田市千秋公園 1-4

公式サイト

- ・ <http://www.city.akita.akita.jp/>

設立主体

- ・ 秋田市

運営主体

- ・ 秋田市

設立目的

- ・ 佐竹氏関連の資料を収集するとともに、秋田の藩政時代を紹介する目的のため設置。

展示概要

- ・ 常設展のほかに企画展として、秋田市に所在する指定文化財のほか寄贈品などの収蔵資料や、半の歴史資料、藩主をはじめとする文化を培った画家の作品を紹介。

活動概要

- ・ 資料の収集、調査。
- ・ 教育普及活動。

延床面積

- ・ 約 519 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 4 名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 約 40,770,000 円（2003年度）

総資料点数

- ・ 1,956 点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 施設の老朽化が著しく、改築に向けて検討中である。

2. ボランティア活動 名称：久保田城址歴史案内ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 1998 年久保田城址である千秋公園を訪れる人々に、城址の歴史や自然を紹介する適切な案内を行い、秋田藩と佐竹氏を全国に紹介する懸け橋となる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 38 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性： 21 名、女性： 17 名
- ・ 平均年齢 63.4 歳：男性 67.7 歳、女性 58.5 歳

ボランティア担当職員（2005 年 01 月現在）

- ・ 部局名称：秋田市立佐竹史料館
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①久保田城址歴史案内、②会員の研修会開催、③佐竹史料館の事業への協力。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 活動を円滑に行うため、久保田城址歴史案内ボランティアの会を組織し、教育委員会が任命、代表者が会全体をまとめる。
- ・ 総会は年 1 回行う。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>
なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 秋田県観光コンベンション協、会秋田市観光案内人、秋田市ボランティア連絡協議会と連携し、情報の収集に努めている。

活動個別シート 活動名：①歴史案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 38 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 久保田城址内の歴史案内
- ・ 佐竹史料館の事業等への協力。

◇活動日

- ・ 4 月～11 月までの土、日曜日に常駐、予約のあった日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 研修会時に講師謝礼を補助。
- ・ 事務局設置のため建物の一部を賃貸(無料)。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4 班に分かれ、1 日 4～5 名程度で城址内を案内。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 他市町村の案内ボランティアの会員との交流(年 1 回)。
- ・ 毎月 1 回連絡会を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 市発行の広報誌や新聞などで募集(秋頃)。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 7 回研修会を開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入(市社協で負担)。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 活動内容やメンバーが固定化しつつある。

◇その他

- ・ 特になし

.....

館園名 : 秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1965年04月00日

所在地

- ・ 〒010-8502 秋田県秋田市手形字大沢 28-2

公式サイト

- ・ <http://kuroko.mus.akita-u.ac.jp/>

設立主体

・

運営主体

・

設立目的

- ・ 1910（明治 43）年、秋田鉱山専門学校設立と同時に設置された鉱物の地質関係標本の列品室に始まる。

展示概要

- ・ 鉱物、鉱石、岩石、化石のほか、機械、器具、模型、製品などを収蔵。
- ・ 1階列品室：「大学コレクションコーナー」。長年にわたって収集してきた岩石・鉱物・宝貴石・アンモナイト化石などを展示。
- ・ 2階列品室：「自然史系」。地球の歴史、日本列島の生い立ち、秋田県の地下資源や遺跡、災害の謎を解く、などのテーマ別に展示。
- ・ 3階列品室：「工学系」。地下資源の採掘、エネルギー資源の利用、生活と素材、環境汚染、コンピュータの歴史などのテーマ別に展示。

活動概要

- ・ 機関誌、鉱業博物館PR用リーフレットを出版。

延床面積

- ・ 3,883 m²

全職員数

- ・ 4名

年間運営費

- ・ 5,000千円

総資料点数

- ・ 16,000点

その他

- ・ 2階と3階に設置されたパソコンを通じて、様々な知識を学ぶことができる。特に、3階では、所蔵資料を検索することができ、世界の類似博物館の情報も得ることができる。
- ・ 館外に、真吹炉、シールド自走支保が設置されている。

2. ボランティア活動 名称：鉱業博物館サイエンスボランティア「マインズ」

活動目的・経緯

- ・ 1995年05月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 20名（2004年）
- ・ 男性17名、女性3名（2004年）
- ・ 平均年齢：男性68歳、女性63歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：博物館係長 担当人数：常勤4名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①案内・展示解説、②ジュニアサイエンススクールへの協力、③活動に関するニュースの発行、④資料の調査・整理・作成。

活動その他

- ・ ボランティア室あり。関連図書あり。
- ・ サイエンスボランティアの会規約を設け、博物館との緊密な提携の下、ボランティアが主体的に事業を行っている。
- ・ マインズレター（年2回、1回10ページ程度）を発行。
- ・ 毎月第4木曜日に、月例会を開催。
- ・ 博物館からの要請に基づいて案内するほか、1999年7月より、看板を出して希望者を募っている。
- ・ 定年制はない。
- ・ 大学教員による研修を実施。
- ・ 例会終了後に、研修を実施。
- ・ ボランティア相互で研修を実施。
- ・ 年1回、館が現地研修（地質巡検）を実施する。
- ・ 地質巡検の際、バスを館で手配する。
- ・ 保険に加入している。
- ・ 博物館の運営に対する提言と援助も行っている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

ご記入者

- ・ 所属 氏名

活動個別シート ①案内・展示解説

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展示解説 (展示解説が基本となっているが、一部会員および新入会員は、案内・誘導・整理で活動中)。

◇活動日

- ・ 電話、Fax、Mail 等予約があれば、ボランティア代表に連絡し手配をお願いする。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。関連図書あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 予約があれば、ボランティア代表に連絡し、手配して頂く。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 毎月第 4 木曜日に、月例会を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時。定年なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 大学教員による研修を実施。
- ・ 例会終了後に、研修を実施。
- ・ ボランティア相互で研修を実施。
- ・ 年 1 回、館が現地研修 (地質巡検) を実施する。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 地質巡検の際、バスを館で手配する。

◇評価

- ・ 非常に評価が高い。

◇課題と展望

- ・ 最近、新たな入会者がいない。

◇その他

- ・

活動個別シート ②ジュニアサイエンススクールへの協力

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ジュニアサイエンススクール実施に際しての協力 (子ども 40 人程)。

◇活動日

- ・ 7 月下旬の 2 日間 (初日：化石、鉱物の採集。2 日目：整理)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティア 12 人くらい。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ バス代金、弁当は、館が負担。

◇評価

- ・ 積極的で、安定している。
- ・ 子どもたちからも、喜ばれている。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③活動に関するニュースの発行

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 名 (年)

◇活動内容

- ・ マインズレター、年 2 回発行。
- ・ ミニミニマインズ、月 1 回発行。

◇活動日

- ・ 年 2 回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ④資料の調査・整理・作成

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 3 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 資料整理。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大潟村干拓博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 2000年04月29日

所在地

- ・ 〒010-0445 秋田県南秋田郡大潟村字西5-2

公式サイト

- ・ <http://www.ogata.or.jp/ac/museum/>

設立主体

- ・ 大潟村

運営主体

- ・ 大潟村教育委員会（生涯学習課）

設立目的

- ・ 日本最大の干拓事業を記念し、八郎潟干拓の歴史、干拓および村存立の意義を後世に伝えるとともに、全国から入植した人々の営農の姿と村づくりの様子、干拓地の自然・環境、芸術文化を紹介し、都市と農村との交流拠点並びに生涯学習の拠点として機能することを目的に建設された。

展示概要

- ・ テーマ①「頭上の海面」：かつての水面が、今立っている頭上4mにあることを表現する水のオブジェ。
- ・ テーマ②「潟の記憶」：干拓以前の八郎潟の変遷を記録した写真を展示。
- ・ テーマ③「大地創造劇場」：干拓地大潟村の四季を映像で紹介。
- ・ テーマ④「新生の大地」：干拓事業、水管理事業を、模型と映像で紹介。
- ・ テーマ⑤「豊かななる大地」：入植者の営農の苦労と変遷を紹介。
- ・ テーマ⑥「大地との共生」：大潟村の自然・環境・文化を紹介。

活動概要

- ・ 「八郎潟干拓地ならではのもの」「八郎潟干拓地で創造されたもの」「大潟村と関わりがあるもの」を中心に、地域の歴史・自然・芸術文化について、企画展示並びに教育普及事業を実施している。

延床面積

- ・ 2,578.39 m²

全職員数

- ・ 4名

年間運営費

- ・ 約2,580万円（2003年度決算、学芸員の人件費を除く）

総資料点数

- ・ 約8,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：大潟村案内ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 大潟村を訪れる人々に、八郎潟干拓事業や大潟村の歴史、農業、自然を紹介するため、適切な案内と解説を行い、大潟村を全国に紹介する懸け橋となり、併せて会員相互の研鑽と親睦を図ることを目的とする。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 25名（2004年）
- ・ 男性：15名、女性：10名（2004年）
- ・ 平均年齢62歳：男性67歳、女性55歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育委員会生涯学習課（干拓博物館） 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①解説、②館の事業への協力。

活動その他

- ・ 予算の枠組みのなかで、研修の謝礼を支出し、学習会の資料を作成する。
- ・ 総会を年1回開催。
- ・ 役員会を2～3ヶ月に1回実施。
- ・ 事前に職員と打合せを行う。
- ・ 館が、ボランティア活動支援を実施。
- ・ 11月上旬に、村の「生涯学習だより」等を通じて募集（若干名）。
- ・ 館職員と共同で、学習会を年10回開催。
- ・ 案内ガイド先進地の移動研修を年2回実施。
- ・ 干拓地維持管理施設の視察研修を年1回実施。
- ・ その他、必要な研修を随時実施。
- ・ 村社会福祉協議会を通じて保険に加入。
- ・ 館、および事務室に、自由に出入りが可能。
- ・ ボランティア、来館者ともに、満足度は非常に高い。
- ・ 館は、ボランティアとの様々な協働事業を模索している。
- ・ ガイド案内依頼者からの要望の吸い上げと、ボランティア手配の調整の仕事が多くなっている。

関連する出版物

- ・ 大潟村案内ボランティアパンフレット

関連するHP

- ・ <http://www.ogata.or.jp/>（大潟村公式HPで紹介）
- ・ <http://www.ogata.or.jp/ac/>（大潟村教育委員会公式HPで紹介）
- ・ <http://www.ogata.or.jp/ac/museum/>（大潟村干拓博物館公式HPで紹介）

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①解説等

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 25 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 村民および観光客の申し出による大潟村の案内と解説。
- ・ 各種視察団体などの大潟村の案内と解説。
- ・ 会員の学習会および研修の開催。
- ・ その他、本会の目的に必要な事項

◇活動日

- ・ 来館者からガイド案内の依頼がある日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 助成金はないが、博物館予算の枠組みの中で保険に加入。
- ・ 博物館予算の枠組みの中で、研修の謝礼支出や学習会の資料を作成。
- ・ 博物館、事務室に自由に入出りが可能。
- ・ 来館者の要望に応じて、どのような案内ガイドサービスが可能か、事前に職員と打合せを行う。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 来館者からのガイド案内の依頼を受けた日に、来館者の要望に応じて対応。
- ・ 来館者の希望時間にあせる (常時いるわけではない)。
- ・ 小規模グループで 1 人、総合学習等では 2~4 人、修学旅行等では 8 人など、柔軟に対応している。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 役員会を 2~3 ヶ月に 1 回実施。
- ・ 学習会、移動を通じて情報交換をはかる。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 11 月上旬に村の「生涯学習だより」等と通じて募集 (若干名)
- ・ 資格：問わず。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 博物館職員と協働で学習会を年 10 回開催。
- ・ 案内ガイド先進地の移動研修 (ガイド見学、情報交換) を年 2 回実施。
- ・ 干拓地維持管理施設 (防潮水門、排水機場等) の見学を年 1 回実施。
- ・ その他、必要に応じて研修を実施 (本年度は県立博物館リニューアル開館に伴う研修を実施)。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- 基本的に無償。
- 村社会福祉協議会を通じてボランティア保険に強制加入（費用は館が負担）。
- 研修会や学習会の交通費、情報交換費、各施設の入館料は各自負担。

◇評価

- 特に設けていない。

◇課題と展望

- ガイド案内依頼者からの要望の吸い上げと、ボランティア手配の調整が多くなっている。
- ガイド可能なメンバーが限られている。
- 館としては、ボランティアとの様々な協働事業を模索している。

◇その他

- ボランティアおよび来館者ともに、満足度は非常に高い。

.....

館園名 : 亀田城佐藤八十八美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1991年07月10日

所在地

- ・ 〒018-1223 秋田県由利郡岩城町下蛇田字高城4

公式サイト

- ・ <http://www.kamedajo.jp/>

設立主体

- ・ 岩城町

運営主体

- ・ 岩城町教育委員会

設立目的

- ・ 本荘市の佐藤八十八氏が佐藤家三代にわたり収集した美術品等のコレクションを岩城町に寄贈したことをきっかけとして設立。美術品を管理し、後世に伝えるとともに、美術文化発展のため展示公開していくことを目的としている。

展示概要

- ・ 佐藤家三代にわたって収集した美術工芸品のほか、世界の偉人たち60名の直筆書簡類を集めた「世界偉人コレクション展」を常設展として公開。また先覚顕彰館では郷土の先覚の功績を学ぶことができる。

活動概要

- ・ 常設展としては「佐藤八十八コレクション展」として書、絵画、陶磁器、工芸品類を紹介。また「世界偉人コレクション展」では世界の偉人たちの直筆書簡類を見学できる。このほか町内外の作家の作品を紹介する特別展なども年数回行なっている。郷土の先覚の功績を学べる先覚顕彰館や、美術館外では画家（小西雪村氏）のアトリエ見学もできる。休憩所「惣助亭」、茶室「天鷲庵」ではお抹茶の呈茶を行なっている。

延床面積

- ・ 905.56㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 5名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 23,108,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約543点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 特になし

2. ボランティア活動 名称：亀田城お茶室運営委員会

活動目的・経緯

- ・ 裏千家第15世家元指導のもと茶室「天鷲庵」が建設されたことをきっかけとして、茶道文化を広く知ってもらうため、地元の茶道経験者が中心となって設立。来館者に気軽に茶道を楽しんでもらえるようボランティア活動を行っている。また、町内外の子どもたちに体験学習の指導を行っている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 19名（代表となっている運営委員のみの数）（2004年12月現在）※活動総数 80名
- ・ 男性：1名、女性：18名
- ・ 平均年齢 68歳：男性 72歳、女性 65歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：亀田城佐藤八十八美術館
- ・ 担当人数：常勤職員 3名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 来館者への呈茶サービス
- ・ 町内小学生への茶道教室（月1回）。
- ・ ①校外学習、②体験学習等の希望があれば、作法などの指導をおこなう。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 呈茶ボランティアは、流派を問わない。
- ・ ボランティアの活動等を円滑に進めるため、運営委員（19名）をおき、年1回お茶室運営委員会を開いている。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://kamedajo.jp/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし

活動個別シート ①呈茶サービス

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 約80名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 来館者への呈茶サービス。
- ・ 体験学習の際は、茶道の作法などについて指導。
- ・ 施設（茶室周辺）案内、解説。

◇活動日

- ・ 休館日を除く、ほぼ毎日活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動費は、亀田城運営費に含まれる。
- ・ 呈茶の際必要な、茶道具類を準備、備え付けている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 当番表を作り、定期的に運営委員会（ボランティア代表）に郵送、各自で都合の良い日に当番に入りお客様へ対応する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 呈茶当番日誌と集計表を作成し、その日の当番が記入を行う。
- ・ 年1回運営委員会を開催し、活動内容などを話し合う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 定年制、任期などは、特になし。運営委員はボランティアからの推薦により任命する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 申し出があれば、施設まで送迎を行う。
- ・ 美術館での企画展、特別展等開催時には招待券を配布。

◇評価

- ・ 特になし。長年務めた方への感謝状などを贈る場合もある。

◇課題と展望

- ・ ボランティアの年齢が高齢化している。
- ・ 美術館全体の利用者の減少に伴い、呈茶利用者も減少している。
- ・ 呈茶体験を楽しみにしている来館者もいるので、これからはリピーターを増やす努力と、新たな利用者の開拓のためのPRが必要である。

◇その他

- ・ 特になし。

.....

館園名 : 後三年の役金沢資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1991年08月08日

所在地

- ・ 〒019-1314 秋田県横手市金沢中野字根小屋102-4

公式サイト

・

設立主体

- ・ 横手市

運営主体

- ・ 横手市

設立目的

- ・ 「後三年の役」にまつわる史跡探訪の拠点として、郷土の文化財を展示公開するとともに、収集保存して後世に伝え、郷土の理解と文化の振興に寄与することを目的として設立。

展示概要

- ・ 金沢の郷土史家・戎谷南山が国の重文『後三年合戦絵詞』（東京国立博物館蔵）を模写した三巻と、欠落部分を補った改訂補遺二巻を中心に、県指定文化財、考古資料、工芸など、金沢山八幡宮所蔵の貴重な資料を展示している。
- ・ 所蔵資料を中心に、企画展示（年1回程度）を行っている。

活動概要

- ・ 要望に応じて、金沢城跡など後三年の役関連史跡の現地解説。
- ・ 館報（年3回）や後三年の役を紹介するパンフレットを作成し、広く配布している。

延床面積

- ・ 205㎡

全職員数

- ・ 3名（非常勤）

年間運営費

- ・ 6,253千円（2005年度）

総資料点数

- ・ 800点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：後三年の役関連史跡解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 横手市立金沢中学校の総合的な学習や金沢公民館の主催講座などと連携して、市民および観光客に対して、後三年の役に関連した史跡・文化財を案内する人材の育成、地元の歴史を見直すことを目的として史跡解説ボランティア養成講座を開催している。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 7名（2003年）
- ・ 男性： 2名、女性： 5名（2003年）
- ・ 平均年齢 21歳（中学生が主体）

ボランティア担当職員

- ・ 連絡調整等は資料館職員が担当。
- ・ ボランティア養成は、職員や元職員が毎回講師となって行っている。

活動の種類

- ・ ①史跡・文化財の案内。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ 金沢公民館HPより：<http://www.yokoteshi.com/yokote/kanezawa/f-main.htm>

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 横手市立金沢中学校の総合的な学習の時間の一環として。
- ・ 金沢公民館の開催講座との連携。

活動個別シート ①史跡・文化財の案内

◇活動開始年

- ・ 2003年

◇活動人数

- ・ 7名（2003年）

◇活動内容

- ・ 市民および観光客に対して、後三年の役に関連した市内の史跡・文化財を案内する。

◇活動日

- ・ 定期的に市民を対象とした史跡解説を実施（年数回）、他要望に応じて対応。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 随時調整。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 金沢公民館の主催講座として公民館報等で募集。どなたでも参加可能。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 史跡解説ボランティア養成講座（職員、元職員が講師）、年数回開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 新たな層の参加メンバーの開拓が必要。
- ・ 史跡解説を恒常的に行える体制づくりが必要。

◇その他

・

.....

館園名 : 払田柵総合案内所

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1994 年 04 月 01 日

所在地

・ 〒014 -0802 秋田県仙北郡仙北町払田字仲谷地 95

公式サイト

・ http://web1.town.senboku.akita.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AM02000

設立主体

・ 仙北町

運営主体

・ 仙北町教育委員会

設立目的

・ 遺跡見学者のためのガイダンス施設として、一般見学者、児童生徒の歴史学習や郷土学習、一般の公民館歴史探訪事業などによる遺跡見学の総合案内所となる。

展示概要

・ 払田柵跡の出土品を展示。大型スクリーン映像、地形模型、写真パネルなどを使用している。

活動概要

・ 体験学習室などはない。

延床面積

・ 198.74 m²

全職員数（常勤職員）

・ 2 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 4,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 60 点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：柵の案内人ほたるの会（観光及び史跡ガイドボランティア）

活動目的・経緯

・平成13年4月の設立。町内のまちづくりグループと町企画課が連携し、国指定史跡払田柵跡をはじめとした観光ボランティア活動を目的とした団体を設立。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 4 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 3 名、女性： 1 名
- ・ 平均年齢 60 歳：男性 65 歳、女性 45 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 仙北町企画課
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 史跡払田柵跡の野外整備地や案内所のボランティア活動を中心に実施。
- ・ 団体主催の研修旅行、学習会など随時開催。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 会員は40名いるが、実働人数は4名である。

関連する出版物

- ・ 団体の利用方法や史跡のガイドをかねたオリジナルリーフレットを発行。

関連するHP

- ・ <http://web1.town.senboku.akita.jp/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：柵の案内人ほたるの会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 4 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 史跡のガイド。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動補助金 50,000 円。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....
館園名 : 矢島町郷土文化保存伝習施設 矢島町郷土資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1985年06月27日

所在地

・〒015-0404 秋田県由利郡矢島町七日町字羽坂 64-1

公式サイト

・<http://www.town.yashima.akita.jp/yashima/siryokan/index.htm>

設立主体

・矢島町

運営主体

・矢島町

設立目的

・町内資料の散逸・流出の危惧により、資料の保護・保存の場、それらの活用の場とすることを目的として設置。

展示概要

・矢島町の歴史・自然・民俗について、テーマごとに紹介。

活動概要

・年3回の企画展（町内の歴史その他に関わるテーマで）開催。
小・中学生を対象としたこども歴史講座を年1回開催。

延床面積

・576㎡

全職員数（常勤職員）

・2名（2005年1月現在）

年間運営費

・1,300,000円（2003年度）

総資料点数

・2,300点（2005年1月現在）

施設その他

・来年度の合併による運営計画等の見直しが行われると考えられる。

2. ボランティア活動 名称：矢島見どころ案内人

活動目的・経緯

- ・2002年、県の「健康長寿推進チーム」事業の一貫として、役場福祉保健課が中心となり、中高年の生きがいをづくりを目的とした町内史跡・観光勉強会の受講生を町民に公募し、それをきっかけとして有志が「矢島見どころ案内人」と称する観光案内ボランティアを立ち上げた。その活動・広報は役場HPに載せられ、役場観光課を通じて活動を行っている。またさらに有志が日・祝日に資料館勤務し、展示解説を行っている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・15名（2005年1月現在）
- ・男性：9名、女性：6名
- ・平均年齢66歳：男性70歳、女性60歳

ボランティア担当職員（2005年 月現在）

- ・部局名称：矢島町役場 企画商工観光課 商工観光係
- ・担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・展示解説。
- ・町内史跡・観光案内。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・役場観光課を通じて案内依頼があり次第、ボランティアが町内史跡・観光案内人として随行する。その際に資料館が案内コースに入る場合には、展示解説を行う。
- ・活動についての勉強会は郷土史研究の顧問の指導のもと、ボランティア独自で設けている。
- ・資料館の日・祝日勤務のボランティア有志は、来館者の必要に応じて展示解説を行う。

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・[http:// www.town.yashima.akita.jp/midokoroindex.htm](http://www.town.yashima.akita.jp/midokoroindex.htm)

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・2002年

◇活動人数

- ・15名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・常設展の展示解説を行う。
- ・資料館勤務者は企画展についても展示解説を行う。

◇活動日

- ・案内日（不定期）、資料館勤務の有志は日・祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・町から15,000円、活動費として計上。
- ・資料館勤務者に対しては勤務賃金年間395,500円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・案内日に随行し、案内コース（コースに応じて解説代表者がいる）代表者が中心に解説。
- ・資料館勤務者は、日・祝日に1名が、6名でローテーション担当（2005年1月現在）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・勉強会を月1回実施。（ボランティアが自主的に）

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ボランティアの意向による。（加入、脱退、等）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ボランティアが自主的に月1回の勉強会を実施。
- ・資料館勤務者については企画展ごとに解説資料等での説明。
- ・必要に応じて顧問の指導を受ける。
- ・町外案内ボランティア団体との交流会、勉強会。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティアの実費。
- ・資料館勤務者については賃金支払い。

◇評価

- ・独立団体のため、館からは特になし。

◇課題と展望

- ・案内ボランティアの広報を広く行う必要がある。

◇その他

- ・日・祝日の資料館職員不在の際の対応が整ってきた。